



「船上でワカメを観察しよう」

取材

概要 : 船でワカメの養殖場に向かい、養殖中のワカメを引き上げ、実際に触れる体験をする。

小学校3年生
社会



実施内容

1. **実施校** 三浦市立旭小学校
2. **目的** 過去、学習してきたワカメ養殖について、実際の現場や生ワカメの実物を観察することで、より深く理解する。
3. **内容** 班ごとに順番でボートに乗り、ワカメの養殖場に向かう。養殖方法について説明を受けつつ実際にワカメをさわる。浜辺でワカメや養殖について気付いたことをノートなどにまとめる。
4. **日時** 平成29年 2月28日(火) 14:00～15:20
5. **場所** 三浦海岸沖
6. **参加者** 旭小学校児童22名、教頭、教職員2名、研究所職員1名、報道関係者1名
7. **指導者** 上宮田漁業協同組合 吉田 利之 氏

○子どもたちは、各自カバンを持ち、学校から海岸まで、徒歩で向かった。
 ○子どもたちが乗船して走り出すと、揺れや、波しぶきに対して、笑顔や喜びの声を挙げていた。ワカメの養殖場に到着すると、実際に育っているワカメを手にとって感触を確かめる、ワカメの香りを嗅ぐなど、興味を持って体験活動を行っていた。
 ○養殖場から帰ってきた子どもたちの中にはノートを広げて一生懸命ワカメについてノートにまとめている子どもがいた。感想を聞くと「ワカメってぬるぬるしていた!」「結構ごっごつしていた!」と生ワカメについてしっかりと感想を述べていた。
 ○一度も海に行ったことがない子どもがおり、感想を聞いてみると「楽しかった!」と喜びの声を挙げていた。次回はワカメを実際に調理して食べる授業を行う予定。